



## **VMware VIBE プラグイン**

### **Snap Creator Framework**

NetApp  
October 04, 2023

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/snap-creator-framework/administration/concept\\_requirements\\_for\\_vcloud\\_vapp\\_backup\\_and\\_restore\\_operations\\_using\\_the\\_vmware\\_plug\\_in.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/snap-creator-framework/administration/concept_requirements_for_vcloud_vapp_backup_and_restore_operations_using_the_vmware_plug_in.html) on October 04, 2023. Always check docs.netapp.com for the latest.

# 目次

VMware VIBE プラグイン .....	1
VMware プラグインを使用した vCloud vApp のバックアップおよびリストア処理の要件 .....	4
VMware プラグインを使用した仮想マシンのバックアップおよびリストア .....	5

# VMware VIBE プラグイン

Snap Creator は、VMware VIBE プラグインを使用した VMware 仮想マシンおよび vApp のバックアップをサポートします。VMware プラグインは、仮想マシンと vSphere および vApps と vCloud Director の両方の組み合わせに対応する統合プラグインです。

VMware VIBE プラグインを使用するときは、次の点を考慮してください。

- VMware プラグインは、Windows および Linux でのみサポートされています。

Windows 以外または Linux 以外の Snap Creator サーバを使用している場合、VMware プラグインを実行するには、Snap Creator の Windows エージェントまたは Linux エージェントが必要です。

- プロキシとしての Unified Manager サーバはサポートされていません。
- Open Systems SnapVault を使用したマウント、アンマウント、およびバックアップ処理とアーカイブログの管理はサポートされていません。
- VMware プラグインを使用した VMware HA はテストされていないため、サポートされていません。
- VMware vCenter リンクモードおよび VMware プラグインの組み合わせはテストされていないため、サポートされていません。
- VMware プラグインは、raw device mapping（RDM；raw デバイスマッピング）をサポートしていません。
- ボリュームは自動検出を使用して検出されます。

検出されたデスティネーションボリュームは、SnapMirror 関係にない場合は表示できません。dpstatus コマンドを使用して、SnapMirror 関係を確認できます。SnapMirror 関係が存在しない場合は、まず SnapMirror 関係を作成する必要があります。


- リストア処理を実行する前に、すべての VMware Snapshot コピーを削除する必要があります。
- リストア処理の完了後、リストアした仮想マシンおよび vApp の Snap Creator バックアップを実行し、新しい環境をクリーンアップしてすべての VMware Snapshot コピーを削除する必要があります。

VMware プラグインを使用しても VMware Snapshot コピーをクリーンアップできずにエラーが表示される場合は、VMware Snapshot コピーを手動で削除する必要があります。VMware プラグインによって VMware スナップショットコピーの削除が 100% 保証されるわけではありません。これは、VMware 問題と呼ばれています。

- VMware プラグインがサポートしているのは、32 ビットの Snap Creator と 32 ビットの Linux システムの組み合わせ、および 64 ビットの Snap Creator と 64 ビットの Linux システムの組み合わせのみです。
- 削除された仮想マシンはリストアできません。
- ボリュームリストア処理はサポートされていません。アプリケーションで定義したリストア処理のみがサポートされます。
- SC\_AGENT\_TIMEOUT パラメータの値は、1、800 以上に設定してください。
- VIBE\_VMWARE\_SNAPSHOT パラメータ（VMware snapshot オプション）のデフォルト値は N です
- APP\_DEFINED\_RESTORE の値が Y の場合は、グラフィカルユーザインターフェイス（GUI）を使用した SnapVault のリストア処理はサポートされません。

- GUI を使用して SnapMirror と SnapVault の構成を作成する場合、SnapMirror と SnapVault の関係は自動的に検出されないため、SnapMirror と SnapVault のパラメータを手動で入力する必要があります。
- VMware プラグインによって、ISO でマウントされたパスがデータストアとして検出されます。

次の表に、VMware VIBE プラグインのパラメータ、パラメータ設定、およびパラメータについて説明します。

パラメータ	設定	説明
VIBE_DYNAMIC VOLUMES _ UPDATE	Y または n デフォルト：設定されていません	このパラメータを N に設定すると、動的なボリューム更新は実行されません。つまり、VOLUMES、SNAPVAULT_VOLUMES、SNAPMIRROR_VOLUMES、NTAP_DFM_DATA_SET の各パラメータを手動で設定する必要があります。
VIBE_NOPING	デフォルト：N	VMware プラグインまたはストレージコントローラへの ping に Internet Control Message Protocol (ICMP) を使用しないように指定します。
VIBE_VCLOUD_IPADDR	該当なし	へのログインに使用する vCloud Director の IP アドレスまたはホスト名を指定します (vCloud のみ)。
VIBE_VCLOUD_USER	該当なし	<p>vCloud Director へのログインに使用するユーザ名を指定します (vCloud のみ)。@org または @system (最上位の vCloud データベース) を設定する必要があります。</p> <div>  <p>バックアップ処理とリストア処理を実行するには、vCloud Director のシステム管理者のユーザ名を使用する必要があります。組織の管理者クレデンシャルまたはその他のユーザクレデンシャルを使用している場合、これらの処理は失敗します。</p> </div> <p>例：「administrator@system`」</p>

パラメータ	設定	説明
VIBE_VCLOUD_PASSWD	該当なし	指定した VIBE_VCLOUD_USER に関連付けられたパスワードを指定します（vCloud のみ）。
VIBE_VCENTER_USER	該当なし	vCenter へのログインに使用するユーザ名を指定します。
VIBE_VCENTER_PASSWD	該当なし	指定した VIBE_VCENTER_USER に関連付けられているパスワードを指定します。
VIBE_VCLOUD_NAMES の機能を使用します	該当なし	バックアップする組織名、仮想データセンター名、vApp オブジェクト名を一覧表示します（vCloud のみ）。例：「org : VDC1、VDC2 : VAPP1、VAPP2、Org2 : VDC3 : ORG3 : VAPP6」
VIBE_VSPHERE_NAMES	該当なし	に、vCenter 単位でバックアップするデータストアと仮想マシンを示します（vSphere のみ）。例：「VCENTER1 : DS1 : VM1 ; VCENTER2 ; DS2、DS3 : ; VCENTER3 : VM4」
VIBE_TRIM_VSPHERE_NAMES の名前	該当なし	に、vCenter ごとのバックアップから削除する仮想マシンを示します（vSphere のみ）。例：「VCENTER1 : VM99」、「VCENTER2 : VM5、vm12」
VIBE_RESTORE_INTERVAL	デフォルトは「30 秒」です	リストアチェックの間隔を指定します。
VIBE_RESTORE_TIME の設定	デフォルト：'3600 秒	リストア処理が完了するまでの待機時間の合計を指定します。
VIBE_VMWARE_SNAPSHOT	デフォルト：N	バックアップ中に VMware スナップショットコピーを作成します。

パラメータ	設定	説明
VIBE_IGNORE_exportfs = Y または N	デフォルト : N	<p>このパラメータは、Snap Creator の VIBE 構成ファイルに手動で追加する必要があります。</p> <p>値が Y に設定されている場合、Data ONTAP 7-Mode 構成では、コントローラの exportfs 値は無視されます。代わりに、Data ONTAP はボリュームエクスポートパスを /vol/datastore_name としてマッピングします。この場合、データストア名はバックアップ用に指定されます。vFiler ユニットを使用している古い環境では、個々のデータストアの exportfs 情報を vFiler ユニットから取得できないため、この方法が使用されることがあります。代わりに、vfiler0 にクエリに基づいてパスをマッピングする必要があります。</p>

• 関連情報 \*

"Interoperability Matrix Tool : [mysupport.netapp.com/matrix](https://mysupport.netapp.com/matrix)"

## VMware プラグインを使用した vCloud vApp のバックアップおよびリストア処理の要件

Snap Creator では、VMware プラグインを使用した vCloud vApp のバックアップをサポートしています。vApp および仮想マシンのバックアップコピーは、vCloud Director API または vSphere API を通じた VMware プラグインを使用して作成されます。vCloud Director API は VMware vCloud Director 上で起動し、vSphere API は VMware vCenter サーバ上で起動します。

vApp のバックアップおよびリストア処理を正常に実行するには、構成ファイルで次の詳細を指定する必要があります。

- vCloud の IP アドレスおよびクレデンシャル
- vCloud の組織、virtual data centers（vDC；仮想データセンター）、vApp の名前



複数の vCenter を vCloud に接続する場合は、すべての vCenter サーバのパスワードを同じにする必要があります。

vCloud のバックアップ処理とリストア処理を実行するときは、以下の点を考慮してください。

- VMware と vCloud を比較すると、バックアッププロセスとリストアプロセスはほぼ同じですが検出プロセスではありません。vCloud のバックアップでは、representational State Transfer（REST）API

を使用して、vCloud Director のメタデータを追加で検出する必要があります。

- vCloud の詳細として、バックアップ対象の組織、vDCs、vApp を指定する必要があります。
- vDC がリストされている場合は、vDC 内のすべての vApp がバックアップされます。
- vCloud モジュールは、バックアップが必要な vApp に関連付けられている仮想マシンを検出して、バックアップリストに表示します。
- バックアップ対象に選択した vApp が、同様にバックアップ対象として選択した組織または vDC に含まれている場合、vApp は 1 回だけバックアップされます。



VMware プラグインを使用して Virtual Machine File System (VMFS) のリストア処理を実行する場合は、LUN と同じサイズの LUN クローンを作成できる十分なスペースがボリューム内に必要です。

## VMware プラグインを使用した仮想マシンのバックアップおよびリストア

Snap Creator は、VMware プラグインを使用した VMware 仮想マシンのバックアップをサポートしています。仮想マシンのバックアップは、VMware vCenter Server の vSphere API を使用して実行されます。

仮想マシンのバックアップの場合、構成ファイルで次の詳細を指定する必要があります。

- vCenter の IP アドレスまたはホスト名とクレデンシャル
- vSphere 仮想マシン名およびデータストア名



Snap Creator による vCenter の検出は、vCenter がデフォルトのポート (443) に設定されている場合にのみ実行されます。

リストア処理の場合には、バックアップパラメータおよび Snapshot コピーの名前を指定する必要があります。

VMware のバックアップおよびリストア処理を実行するときは、次の点に注意してください。

- 表示された仮想マシンが利用できない場合は、プラグインにエラーメッセージが表示されます。失われた仮想マシンは、バックアップされていてもリストアできません。
- データストアが表示されている場合は、データストア内のすべての仮想マシンがバックアップされます。
- 表示されている仮想マシンまたは指定したデータストアに配置されている仮想マシンのみがバックアップされます。
- バックアップ対象に選択した仮想マシンが、同様にバックアップ対象に選択したデータストアに含まれている場合、その仮想マシンは 1 回だけバックアップされます。
- VMware プラグインは、Network File System (NFS) データストアと VMware Virtual Machine File System (VMFS) データストアの両方をサポートしています。
  - NFS データストアでの仮想マシンのリストアは、ストレージシステムで Single File SnapRestore (SFSR) を使用するため、ホストのコピーを回避できます。
  - VMFS データストア上の仮想マシンをリストアするには、次の手順を実行します。

- i. 特定のリストア Snapshot コピーに含まれている LUN の FlexClone または LUN クローンを使用します。
- ii. そのクローンをクラスタにマッピングします。
- iii. vCenter API 呼び出しを使用して、VMFS データストアの Snapshot コピーのコンテンツを元の VMFS データストアにコピーします。



## 著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。